

## タイズ移植版ロシア語教材の考え方

山田 隆  
岡山 武史

文部科学省が公表する平成18年度データ<sup>1)</sup>によると、英語に次いで学習者の多い中国語を導入する高校は全国で819校、合計21264人の生徒が学習している。ロシア語授業を実施する高校は39校、学習者は544人に止まっている。他方、北海道では公立私立合わせて10校が導入し、学習者は215人を数えていることから、北海道がロシア語需要の高い地域であることが数値からも顕著である。ロシア語学習は大学・短大などに進学してようやく始めるのが通例であるが、大学における開設講座と履修学生数もまた、決して大きな数値を示していない。全国にロシア語教室が希薄に散在している状況の中、専攻学部や研究会などは教授法等の研究を積み重ね、実績を公表し始めているのは言うまでもない。本稿では、札幌大学版ロシア語教材をタイズシステム<sup>2)</sup>に移植する事例を紹介し、その導入がクイズ感覚をもちながら、文法と語い力の定着と強化に役立つことを確認したい。

タイズ版ロシア語練習問題編の前身は、札幌大学で継続開発され、現在、主として外国語学部の専門科目で使用されている『ロシア語入門コース』の練習問題編<sup>3)</sup>である。本書の開発は、北海道大学と札幌大学が『基礎ロシア語コース』(全3冊、ナウカ出版)を共同編集した1992年まで遡ることができる。その後、1999年に改訂版、2002年には改訂新版『ロシア語入門コース』を経て、2006年に再版、そして現在に至っている。教科書は1992年の開発当初から、文法編、練習問題編、会話編の3部構成であり、カリキュラム構成や授業目的に応じて教科書の組み合わせを変えることができる。本学の専門課程では全3冊とも第1と第2セメスターの授業で使用している。学内の他4学部では主に会話編を選び、ロシア人と日本人教員が共同授業を行っている。

現教科書の特徴として、ロシア文部省が実施する『外国語としてのロシア語検定』の仕様に準拠して制作していることが挙げられる。モスクワ市に所在する検定実施本部は、受験レベルに応じて出題範囲の文法項目や語い数などを世界に公表し、検定品質を厳格に管理している。教科書は6段階ある受験レベルの内、易しい方から2番目の「基礎レベル」に焦点を絞り、以下の基準に基づいて編集をおこなっている。

基礎レベルでは基礎的なロシア語を理解し、かつ平易なロシア語を読み、聞き、話し、書く能力をテストする。文法・語いでは基本的文法事項、および語い数1300語程度から出題する。読解では評論文などから主要な情報を読みとる。聴解に関しては日常生活に必要な文章を聞き取り、問いに答えることができる。そして、作文力ではテキストを読んで問いに答える。また、会話力では日常的な会話のほか、テキストを読んでそれについて発言できる。(検定仕様書の抜粋)

練習問題編を電子化するにあたり開発チームは、ロシア語検定基礎レベル水準の文法と語い力の実力養成に学習目標を定めるとともに、タイズ編集プログラムがもつ以下の点に特に注目した。

1. 半角のロシア語入力が可能である。
2. 簡易編集モードには選択式解答枠やヒント入力欄が用意されている。
3. 成績集計機能が備えられている。
4. 外部リンクを張ることができる。

ロシア文字を半角で表記することは、文字表現にしまりと端麗さが現れる他に、画面構成をコンパクトに収めることができる。タイズ導入の最大理由がこれであった。Unicode文字を使い、ロシア語練習問題を公開する個人規模のHPが知られているが、タイズの場合には文字表示に加えて組織的な支援体制が整っている利点大きい。さらに、電子教材が加盟大学に配信・公開されると

ともに、一般ユーザーにも広く学習機会を提供できる点も見逃せない。

この練習問題集で開発チームは選択解答方式を設定した。このモードは、オリジナル教科書にはなく、電子版作成の際に導入決定した事項である。選択式の解答では誰もがチェックを入れ、解答し終えることができるために、学習導入時の敷居の低さを謳うケースには最善のしかけ、と思われる。練習問題の難易度には文法規則そのものの難易と、作題の考え方や作題技術に伴う難易がある。前者は通常、簡単な文法規則から学習を始めて、段階的に難しい規則、複合的な規則へと発展させていく。また、ここでは単語や文章の対訳を出題して、単語の習得と文章の理解度を試すことにした。選択式解答では予備知識がなくても偶然に正解することが時々起こるが、移植に際してこれをなるべく取り除くため、ひとつに語尾変化のチェック、もう一つに意味のチェック、両者がともに正解しなければならないという完全解答形式を採用している。その際、ロシア語検定の合否基準に準じて 80 点という合格点を設定した。この結果、ロシア語学力をある程度まで備えた学習者でなければ、一度の受験で 80 点という合格ラインに達するのは難しいだろう、と予想している。

?	合格点: 80点 / 満点: 100点 著者: 岡山武史@札幌大学 山田隆@札幌大学 田村愛火@札幌大学 堀越しづ子@札幌大学
	作成/更新日: 2008.10.16 16:31:00

---

題尾を美化させ、解答文を和風化しない。

著者: 岡山武史@札幌大学 山田隆@札幌大学 田村愛火@札幌大学 堀越しづ子@札幌大学

Q1. 題尾を美化させ、解答文を和風化しない。

Что ты купишь к (новЫй год)?

美化形: какого года

美化形: какого году

美化形: всем году

美化形: всем года

和 IR: 君はあ正月に何を買おう?

和 IR: 君はクリスマスに何を買おう?

幸いなことに、タイズの編集機能にはいくつかの「気遣いモード」と呼べるしかけが備えられている。第1に、解答時間の制限解除である。下の図のようにこれを設定すれば、学習者は時間を気にせず、文法書や辞書を読みながらで

も解答が用意できる。

■解答受付期間  
○必須

○設定する ○設定しない

分間

第2の調節機能は、設問配列の切り替えである。すなわち、想定される学習者の語学力に応じて「(作題順に出題される) 通常形式」と「設問をランダムに出題する」モードを適宜、使い分けることできる。

問題の設定

通常形式  設問をランダムに出題する

満点: 100点  
合格点:  点

問題に1度しか解答できない



問題の設定

通常形式  設問をランダムに出題する

満点: 100点  
合格点:  点

問題に1度しか解答できない

第3段階として、タイズには再試モードが用意されていて、採点後の「始めからやり直し」、「不正解箇所のみやり直し」の選択肢がある。『繰り返しは、学習の母である』という格言通りに、上達、熟達を期して何度でも繰り返すのが、学問の王道と思われる。

不合格

実施日: 2008 08 27 21:37:00

点数: 60/100点

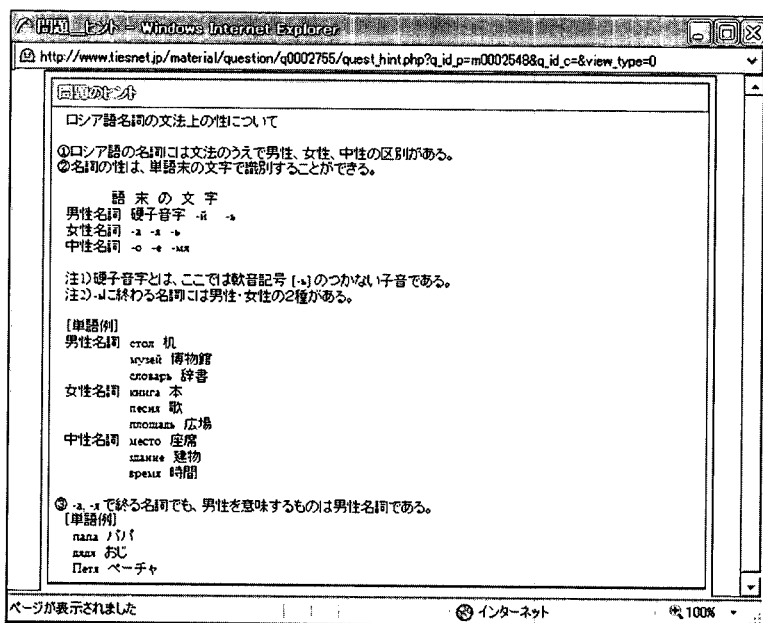
再挑戦する場合はこのボタンを押してください

[一旦は不合格判定だが、画面下には再試験を促すメッセージが現れる]

学習強化を目指すのであれば、これまでの方法で別の選択肢を選べばよい。たとえば、解答時間を10問で5分間に、または3分間に制限するだけで、訓練の高度化を図ることができる。学習の初期段階では正確な知識を得て、正しい

解法を再現することに焦点を絞る。続く段階では処理の高速化を目指す。また、解答の提出回数についても無制限回数を止めて、1回に限定する。このように解答条件を自由に組み合わせ、初期設定を変えられるのは、まさにネット版練習の特徴であり、紙媒体等がもたあわせない利点である。

第4段階は、解答画面の右上に浮上する[ヒント]の存在である。作題者が必要に応じ添えておくと、解答画面に別枠表示される。下のヒント見本は、姉妹編である『ロシア語入門コース 文法編』に基づいて本編に組み込んだ。文法編は本シリーズの中心的な教科書であり、文法用語の解説に始まり、ロシア語の語形変化一覧表、例語や例文などを網羅記述している。全27課、120ページから成り、タイズ版から省いた第1課ではロシア語のアルファベットや文字、発音、第2課には簡単な文を取り扱う。それ以降はタイズ版に反映されている通りで、ロシア語基本文法のほぼ全域をカバーしている。



この編集では文字色について地の文を黒色、課題の指示箇所を赤色、外部リンクとの接続を青色で示している。今から20年ほど前に提唱され、徐々に認知と浸透を見せているユニバーサルアクセスの考え方に従えば、誰にでも識別しやすいように配慮、工夫することがいつでも求められている。黒・赤・青の構成で課題画面を作成し、それぞれ色見が違って見えたとしても、黒との違いが明確で、課題箇所(赤色)、リンク(青色)として識別可能と思われるので、黒・赤・青の構成でも十分運用可能と判断している。

以上のように、このシステムが備える解答や採点形式の柔軟性は、幾重にも重ねられた学習支援機能を担っており、結果として出題意図を強調し、eラーニング効果の増幅を保証する条件を満たしていると言える。

開発者が着目した4つ目の特徴について、外部リンクを張ることにより本編は練習問題集でありながら、いわば「見聞強化」プログラムとしての機能も残すことができた。ロシア独特の風物は、ことばだけではどうも理解し難い。写真や音声などを提示し、解説しようやくわかるものが多数ある。これらの情報が解答者に必要ない場合は、[コラム]欄を素通りして次の問題に取りかかれればよい。

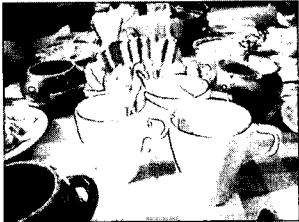
Q1. ○  
次の単語の文法性と意味を、それぞれ答えなさい。

**чай**

【コラム】ロシアの紅茶

文法性: 男性名詞

ロシアの紅茶 Русский чай



茶皿中央に置かれたティーカップに紅茶はまだ注がれていませんが、砂糖などの食料品がよくわかるカットです。ロシアンティーには小皿に盛ったジャムが添えられていますが、通常は、これをカップに入れます。茶箱口に添えてお茶を淹れます。カップ

外部リンクに接続すると、上記のような追加情報や追加教材をタイズシステムとは異なる、独自の形式で引用することができる。またインターネットは世

界規模で稼働しているため、ほぼ無尽蔵のリソースにアクセスできる。反面、リソースを蓄積しておくサーバーを持たない組織や個人では運用にも自ずと限界が生じる。外部システムとの接続によってセキュリティ管理の問題も考えられる。その他、著作権の保証という重要な事案を考慮することを忘れてはならない。これが、教授法の選択肢を押し広げるといふ側面と、完結したシステムを歪めるといふ側面を併せ持っているという点で、熟慮と今後の検討を要する。

自然言語である外国語の試験では記述式の解答を求める場合が非常に多い。特に翻訳や自由作文においては原語で綴らなければ、解釈の正誤や理解の度合いが測定し切れない。電子版の外国語教授システムにおいても、記述式解答を求める事情は変わらない。現状はどうか。技術的な制約、ソフトウェアの未完成としか説明のしようがないが、解答文の構文解析が実に難物なのである。言語類型によって解析しやすいタイプがあるのは事実で、語順を例にとると、英語では単語が定語順に配列される。ロシア語の場合は、格語尾によって解読可能なため自由語順が使われるケースが多々ある。しかし、両方の言語は印欧語族の一つであるから、語順の配列原則は一致している。翻訳ソフトの内、たとえば露英・英露翻訳はコンピュータ揺籃の時代から市販されているが、ロシア語と日本語の翻訳パッケージはついで見かけない。積み残しの課題と言うにはあまりにも重く、解決が程遠い。

## 注 釈

- 1) 『平成 18 年度高等学校等における国際交流等の状況について』文部科学省初等中等教育局国際教育課
- 2) 『インターネット教育支援サービス・タイズ』<http://www.tiesnet.jp/index.php>
- 3) 『ロシア語入門コース』札幌大学教科書編集委員会編著、2006 年